



メインスポンサー



ヴェネチア・ビエンナーレの 第74回ヴェネチア国際映画祭で、 その役割を果たし続けるジャガー・ルクルト

ジャガー・ルクルトは、過去12年にわたり、日々映画制作に貢献している人々、映画制作に活気をもたらしている人々のすべてを支援し、映画遺産を保護することに重きをおいてきました。

この精神に基づき、ジャガー・ルクルトはヴェネチア・ビエンナーレのヴェネチア国際映画祭と深く関わり、「現代の映画に大いなる革新をもたらした」人物に対して(アルバート・バルベラ)、グローリー・トゥー・ザ・フィルムメーカー賞を授与することで、映画監督のクリエイティブな才能にオマージュを捧げています。歴代の受賞者には、北野武(2007年)、アッバス・キアロスタミ(2008年)、アニエス・ヴァルダ(2008年)、シルベスター・スタローン(2009年)、マニ・ラトナム(2010年)、アル・パチーノ(2011年)、スパイク・リー(2012年)、エットーレ・スコラ(2013年)、ジェームズ・フランコ(2014年)、ブライアン・デ・パルマ(2015年)、そして2016年はアミール・ナデリ、と魅惑的な人物が名を連ねています。

グランドメゾンには映画産業との強固な関係を育み、映画制作という文化に明るい光を当てるという強い責任を示しています。ヴェネチア・ビエンナーレの第74回国際映画祭においても、ジャガー・ルクルトはユニークな独創力と映画のシーンを通じて、映画に携わるすべての才能溢れる人々を支援いたします。

ジャガー・ルクルトと映画

1833年以来、ジャガー・ルクルトは、優れた名作を生み出す熟練の技術を維持しながら、時計づくりの伝統という名の遺産を継承しています。卓越性をたゆみなく追及し、ユニークな発明の精神に支えられているジャガー・ルクルトは、長きにわたり、映画の価値を高め、保存するための支援活動に携わってきました。

10年以上にわたり、ジャガー・ルクルトは、ヴェネチアをはじめ上海やサン・セバスチャンなど優れた芸術性を誇る世界中の映画祭と深く関わり、毎年、グローリー・トゥー・ザ・フィルムメーカー賞を授与し、映画監督のクリエイティブな才能にオマージュを捧げています。ジャガー・ルクルトは、映画の世界との密接な関係を通して価値観を共有し、毎秒、この瞬間を永遠に刻むという共通のミッションを見いだしました。

女性らしい腕時計、ランデヴーは、いつもかけがえのない瞬間にあなたとともにあり、どんな役もこなします。ジャガー・ルクルトは、すべての女性に対し、映画のアイコン的な瞬間やシーンを演じるように、自分の中の女優を表現する機会を提供します。またとない感動的な瞬間を味わい、それをシェアしてください。

#LikeinaMovie

マニュファクチュール ジャガー・ルクルト

ジャガー・ルクルトはその創業以来、美しい逸品を愛する人々を魅了し、驚きを 与え続けています。1833年、創業者アントワーヌ・ルクルトによる革新の精神を受け継いだマニュファクチュールの職人たちは、自らの才能とサヴォアフェール（ノウハウ）を集約させ、技術面、デザイン面の両方において時計界の最高峰として称えられるコレクションを作り上げてきました。レベルソ、マスター、ランデヴー、そしてアトモス…。世紀を超えて 受け継がれてきた豊かな遺産は、グランド・メゾンとして名高いジャガー・ルクルトに創造の力を与え、今でも卓越への道筋を示してくれます。数々の伝説的モデルに続き、21世紀には、ハイブリス・メカニカ (Hybris Mechanica™)、およびハイブリス・アーティスティカ (Hybris Artistica™) コレクションが誕生しました。意外性に 満ちていながら、エレガントでもあるこうした希少なタイムピースもまた、時代が変わってもアトリエの同じ屋根の下で働くウォッチメーカーたちを駆り立てる創造への情熱を証明しています。

2017年、ジャガー・ルクルトはその数あるアイコン的なコレクションの中でも、4つのコレクションにスポットをあて、まばゆい美しさを湛えたウォッチメイキングの至宝を発表いたします。女性用ウォッチの頂点を目指す新しいランデヴー・コレクションのラインを充実させました。

www.jaeger-lecoultre.com

